

地域版

SASEBO 99 Talk
M Cafe

令和5年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和5年10月25日(水) 14時から
場所	九十九地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	地域活性化について (1)森きららの移転計画の現状 (2)廃校3校の跡地活用 (3)九十九島観光公園開発計画の現状
出席者	地域参加者10名、市長ほか関係者4名 合計14名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について
森きららの移転計画の現状

地域参加者

【森きららの移転計画について】

- 森きららの移転検討については様々な意見がある。特に庵浦湾に流れる排水、移転した場合の跡地の問題、動物の鳴き声・騒音などを心配する声がある。
- 森きららは地元で大切にしてきた長い歴史を持つ動植物園なので、移転になると町内会としては寂しくなるという思いがあるが、移転することになったとしてもそちらで更に発展していくと良いと考えている。
- 仮に森きららが移転してきたら、現在よりバスの便が良くなるのではという期待の声もある。交通量が増えることによる問題も出てくるのかもしれないが、その際は話をしながら解決していけたらと考えている。
- この地域はすり鉢状の地形で、夜間は特に音が響くため、星空が綺麗で景色が良い一方で動物の鳴き声が響くなどのデメリットもあると思う。

【森きららが移転した場合の跡地活用】

- 一部では、森きららが移転となった場合、跡地に義務教育学校またはそれ以外の教育施設をという要望もある。
- 森きららの移転検討については学校再編にもリンクする問題であると考えているので、現時点での考え方があれば教えていただきたい。
- 森きららが移転となった場合、跡地に学校を建てれば、緊急の避難施設という使い方もできるのではないかと。



令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について 森きららの移転計画の現状

企画部長

- 森きららの老朽化問題や今後の在り方を検討する中で、観光公園との一体的な移転整備の話が出た。その実現性の有無について事業者へヒアリングを行ったところ、興味を持たれる事業者がいくつかあった。
- 台湾やバリ島には、動物園と宿泊施設が一体となって集客に繋がっている例もある。日本国内にはない新しい試みとして関心が高いことが分かった。
- 森きららの移転は未定であり、物価高騰により費用もかなり大きくなることが考えられる。立地される施設によっては排水処理についてもしっかりと考える必要がある。
- ご心配の騒音、においについては全天候型の施設にすることで一定緩和することができ、周辺に住宅が密集していないことを考えると、適地であると考えている。
- 今後、事業費等も加味しながら検討してまいりたい。できる限り決定のプロセスを共有し、地域のご意見をお聞きしながら進めたいと考えている。

市長

- 公約の中に森きらら等をオンリーワン施設にという項目もあるが、宿泊施設との一体化は大きなアイデアであると思う。森きららの移転検討については、これまでの経緯も含め、検証をしながら進めていきたいと考えている。

学校教育部長

- 森きららが移転となった場合の跡地利用については、再編会議の中でご意見をいただいたというところに留まっている状況である。



令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について
九十九島観光公園の開発計画の現状

地域参加者

【九十九島観光公園の活用について】

- クルーズ船のお客さんが国内外から訪れるようになり、九十九島観光公園からの眺めは日本一だという嬉しい言葉もいただいた。花の森公園や白浜海水浴場などと一体となった活用も考えられる。
- 現在は夜間に閉鎖しているが、将来的には音楽祭や星空観察会などのイベントも行えたらと考えている。天体に関することを将来の仕事にしたいという子どもたちもいるのでこの地域で一緒にやっていけたらいいなと思う。
- 例えばアスレチックを作ったり、よさこい等のイベントを呼んだり、冬には牡蠣を食べられるようにしたり、春は菜の花、つつじなど、年中お客さんを呼べるような工夫が必要だと思う。
- 3廃校の利活用、白浜海水浴場などを含めた一体的な開発ができれば日本随一の公園になるのではないかと思う。

- 九十九島観光公園に実際に行かれた方から、非常に素晴らしい景観である一方で、食べ物や飲み物が何もなく残念だとの声があった。他の地域から来られる方にとって、飲食店もなくトイレも不便であるという問題は切実だと思う。



2023.10.25 九十九地区

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について 九十九島観光公園の開発計画の現状

地域参加者

【俵ヶ浦半島の観光資源活用、整備について】

- 俵ヶ浦半島の尾根の北側は九十九島国立公園に面しており、南側には元々の集落がある。発展させたい方がいる一方で、今の集落の形態を維持したい方がいらっしゃるということも開発の中で考慮していただきたい。
- 花の森公園は、市から委託を受け管理をしているが、主に桜の時期と、白浜海水浴場の帰りにトイレに立ち寄られるくらいで利用客は少ない。せっかくある公園を活かすためにも、九十九島観光公園との繋がりを見直し、整備を考えることが必要だと思う。
- 展海峰は、飲食できるお店などあれば観光客の増加にもつながるのではと思うが、地元だけでは難しい。観光公園と一体的な活用を考える必要がある。夜の時間帯も含めたイベント等、できることがあれば一つずつ取り上げてみても良いのでは。
- 俵ヶ浦町の丸出山砲台跡にお客さんが来られるが、トイレがなく、その辺で用を足す方がいる。トイレの整備が必要と思う。
- 白浜キャンプ場は設備が古くなってきており、常設テントは利用者が少なくなっているの見直ししていただきたい。キャンプ場はフリーサイトとオートサイトが人気である。ビニールテントは夏暑いので冬向きだと思うが、(開場期間は4月～10月末)管理者に尋ねると、冬場の開場は雇用の面で難しいということだった。
- 以前、温泉を掘ってはどうかという意見が出たこともあった。現在の考え方を示していただければと思う。
- 温泉だけでなく井戸水が一定期待できるということであれば、地元としてはできる限り早く観光施設での利用等、具体化していただきたい。

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について 九十九島観光公園の開発計画の現状

市長

- この地域は佐世保市の宝であり、国の宝であると考えている。この地域を活かすことができれば、市の観光、経済の発展に繋がっていく。
- 九十九島観光公園、花の森公園、展海峰、白浜、トレイルコース、旧海軍をはじめとする史跡を総合的に活かすことが重要だという思いから俵ヶ浦半島全体の自然公園化をマニフェストの一つに挙げさせていただいた。そのためには全体の青写真を描くことが重要である。
- 様々なメニューを作って半島全体を周遊できるような構想ができればと考えている。出来る限り早く構想をとりまとめて、地域の皆様ともご相談し、出来るところから実現していきたいというのが私の大きな方針であるので、お含みおきいただきたい。
- 俵ヶ浦半島全体の構想を考える中で、この地域にある既に廃校となった3校の利活用についても併せて考えていきたい。
- 今年10月だけでも9隻のクルーズ船が佐世保に入ってきている。乗客の方に寄港地観光を楽しんでいただくためにも観光スポットを作っていく必要があると考えている。
- 佐世保市としてもハウステンボスだけでなく、俵ヶ浦や酒蔵などの観光メニューを充実させて、楽しんでいただけるようなスポットをつくってきたい。
- 団体観光客が入ってくることで、交通に関する問題も出てくる。観光バスによる渋滞対策等も検討していきたい。特に、石岳鹿子前線の案内板をしっかりと作り、できれば県道と石岳鹿子前をうまく周遊できるバスの仕組みも作っていかれたらと思う。
- スピード感を持って、観光公園のあるべき姿を皆さんにお示ししたい。官民、地域で進めていきたいと考えているので是非今後ともご協力いただきたい。

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について 九十九島観光公園の開発計画の現状

市長

- 観光都市を標榜する以上、おもてなしをするのは当然であり、トイレの不便さはマイナスイメージだと考える。今後の構想の中で、休憩所やトイレの場所についても考えていきたい。
- 九十九島観光公園についてのアイデアをたくさんいただいた。アスレチックも実現できたら面白いと思う。
- 最近は休日にキッチンカーが出店されているとも聞いているが、明日からでも観光公園に来られた方に楽しんでもらえるようにできる限り早く考えていきたい。



企画部長

- 俵ヶ浦半島には自然豊かな景観、展海峰や花の森公園、白浜、海軍の遺産があり、廃校となった3校の活用についても興味を持たれる事業者がられることもヒアリングの中で分かってきた。
- 市長のマニフェストの中で、「俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化」、「廃校校舎など遊休化した行政資源の効果的な活用」、「HTB・九十九島・森きらら・海きらら等におけるオンリーワン観光の振興」を掲げられている。これから俵ヶ浦全体の観光資源を活用した全体の青写真を描きながら次の展開に入っていきたい。
- 温泉調査の結果、1200mほど掘れば温泉が出る可能性が高く、100m~150mほど掘れば、生活水として使える水の層もあるということが分かった。実際に掘ってみないと分からないが可能性はあるということでご理解いただきながら今後、事業者との事業展開も踏まえて判断をしていきたい。

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について
その他

地域参加者

【学校再編について】

- 学校再編については、地元でワーキンググループを作って教育委員会と話をしてきたが、現時点では保留という形で、結論には至っていない。
- 当初は、周辺が急傾斜地で危険だという意見や、車の乗り入れができないという事情から愛宕中を現在の場所から建替えて欲しいという意見もあったが、県道日野俵ヶ浦線のバイパス新設によりアクセスが良くなるということで、現地のまま残す方向でという意見が多くなってきているように思う。
- 今後、船越小がなくなると九十九地区から学校がなくなってしまう。児童数は減少傾向であるが、子どもの教育は重要であるので、難しい問題だとは思いますが今後100年以上先を見据えた学校づくりをお願いしたい。地域も全面的に協力したいと考えている。
- 船越小学校の継続をお願いしたい。愛宕中学校の場所に統合するという話が出ていたが、距離も長く、重いランドセルを背負っての登校は児童も親御さんも大変だと思う。
- 今後の児童数の減少についても懸念があるとのことだが、各学年20名は確保できる計画になっているので、九十九地区唯一の学校を継続していただきたい。
- 小学生にとって起伏のある道を徒歩で登下校するのは大変。距離の面だけでなく、イノシシによる危険もあるためスクールバスは必要だと考える。例えば、民間のバスと一体的な運行をするなど、利用者に合わせた運行が必要だと思う。
- 小学校は老人会と密接な繋がりがあり高齢者にとって子どもの存在は活力になっている。船越小学校が統廃合され俵ヶ浦半島から学校がなくなってしまうと、子どもに会う機会がなくなってしまう。バスや自家用車での通学となると尚更である。

令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について
その他

地域参加者

【町内会加入数の現状】

- 船越中央町内会は、約200の世帯で構成されており、そこに米軍住宅が90戸ほど建っている。町内会の状況としてお伝えさせていただきたい。

【石岳トンネルの整備】

- 石岳トンネルは散策で歩かれている方がいるので、安全のために草木の伐採や、グリーンベルトの設置が必要と思う。

【高後崎と西海市を結ぶトンネル建設について】

- 高後崎にトンネルが必要と思う。防衛上、架橋は難しいと思うので、トンネルで西海市と結ぶ道ができれば、人の流れも良くなると思う。
- 40年ほど前に、高後崎から西海市の面高へ橋を架けてはどうかとの話があった。長崎市の女神大橋、西海市の大島大橋などあるが、佐世保市の入口には橋がない。防衛上の問題等あるかと思うが、高後崎から西海市へのトンネルがあると人の流れが良くなると思う。
- 現在は観光バスによる交通渋滞が心配だが、トンネルがあれば半分でも西海市へ流れることができて、交通渋滞緩和にも繋がると思う。
- この地域には庵浦町に米軍と自衛隊の貯油所や、船越町には医療用倉庫等があり、地元としても協力をしてきた。防衛予算等も利用して実現できないか考えている。



令和5年度九十九地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域活性化について
その他

市長

- 学校再編については、地域の皆様との数多くの話し合いの中で、これからの学校のあるべき姿を作り上げているところである。今後も教育委員会と地元の皆様との協議をしっかりと踏まえながら是非進めていただきたい。
- 再編後の学校跡地の利活用については、学校再編と並行して考えさせていただきたい。
- 海外から来られた方が町内会に加入されて町内会のお仕事をされているケースもある。今後、海外からの流入者は増加すると推測している。海外から来られた方と、いかに共存・共生ができるかがこの地域のみならず日本全体が考えていく時代になってきていると考える。壁をつくらず、共生できるよう市としても考えていく必要がある。

学校教育部長

- 愛宕中学校の場所に、愛宕中・船越小・赤崎小を集めた一体型の義務教育学校という素案を再編会議の中で示したところ、敷地や交通アクセス、児童生徒数の今後の推移等についてご意見をいただいた。現在は一次計画から外し保留となっている。今後は令和14年度以降に当案の再編計画を進めていくこととしている。



2023.10.25 九十九地区